

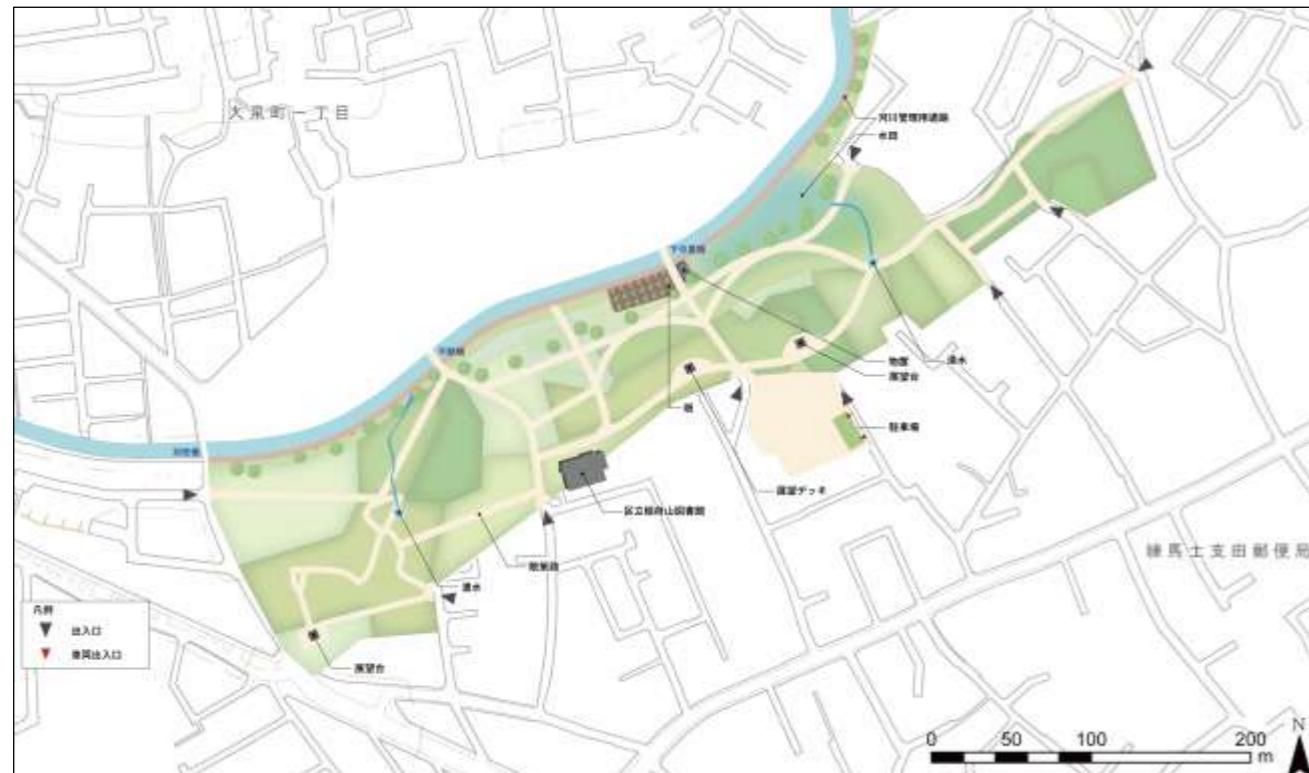
各エリアの将来像の実現に向けた検討について

稻荷山公園の整備に関する専門家委員会

1 「森を守り育てるゾーン」における利活用の将来像（第8回資料より）

樹林や湧水が残る右岸は、都心近くに位置しながら希少な動植物と出会うことができ、武蔵野の面影を感じられる景観を創出します。散策しながら四季が織りなす風景を楽しめるとともに、地域の方々の身近な憩いの場となります。

右岸では、植物や動物の関わりなど生物多様性のほか、樹林地管理や農業などを楽しく学ぶことで、自然環境への探求心を育み、世代を超えた交流が促進されます。



平面イメージ図（右岸）

①武蔵野の面影の再生

- 四季の移り変わりを感じられる武蔵野の森を再生します。湧水を活用し多様な生物が生息できる湿地を形成するとともに、森、ススキ草原、カサスゲやガマ群落など武蔵野の面影を感じながら散策を楽しめます。
- 大規模な崖線の森やそこから生じる湧水の仕組みなどから、地形等を体感できるとともに、こうした環境を保全する活動に取り組めます。

②区民との樹林地管理と希少な動植物の保全

- カタクリやキツネノカミソリなど希少な植物の保全を区と地域の方々などで協働して取り組めます。
- 稲荷山図書館や生き物などに関する自然体験学習を行っている中里郷土の森緑地などと連携しながら、あらゆる世代が豊かな自然とふれあい学べます。
- 樹林地を長期にわたって健全に生育させるため、森林浴を楽しみながら、萌芽更新の促進や苗木の育成体験に取り組めます。

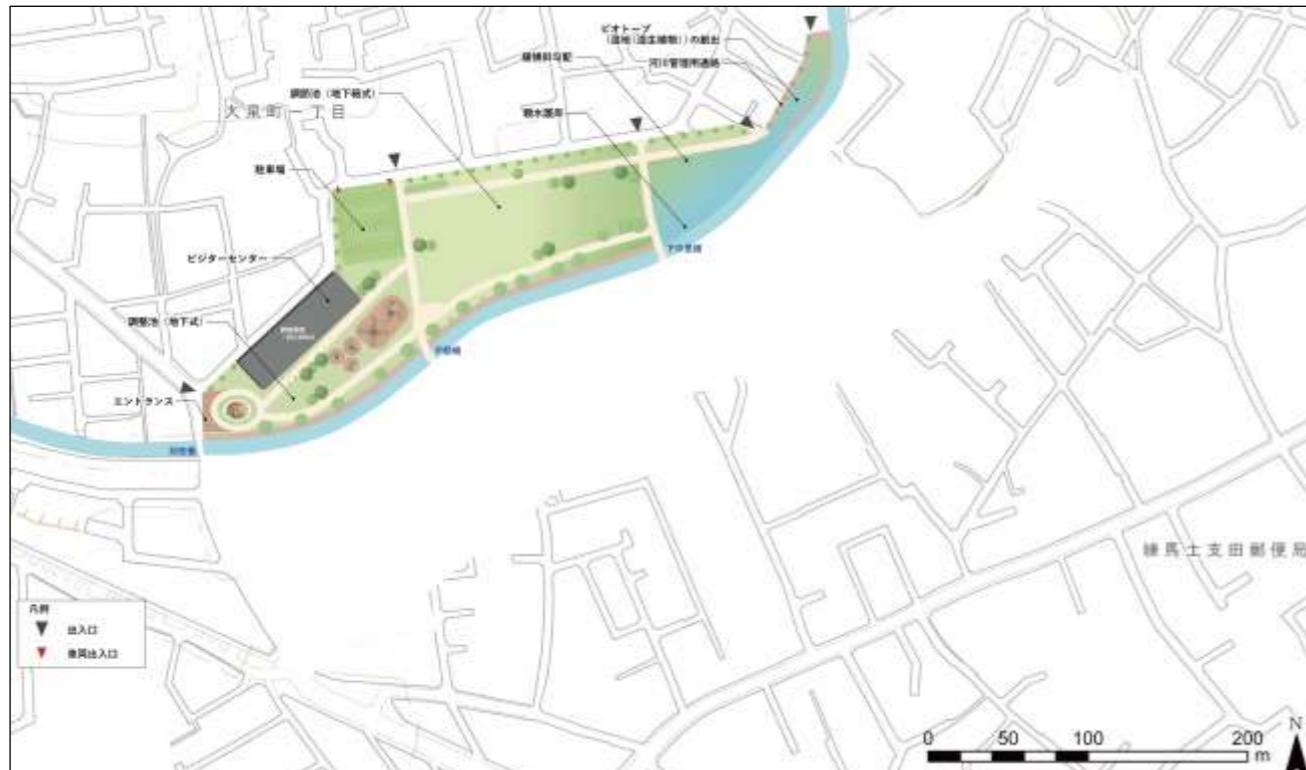
③農業体験

- 幅広い世代のコミュニティ形成の一助として、農業体験を楽しめます。
- 食育・環境教育の一環として、田植え・稲刈り体験学習を実施します。
- 練馬区の伝統野菜や農法などを伝えるため、ボランティアによる農体験指導が行われます。

2 「森の景観を楽しむゾーン」における利活用の将来像（第8回資料より）

平坦な地形を有する左岸は、区内でも有数の大規模な樹林地を望めみどりあふれる開放的な広場とします。広場やカフェなどの休憩施設が日常的な憩いの場となるほか、多目的な活動や多様なイベントも行うことができ、交流を促進します。大規模な地震や火災発生時の避難場所ともなり、地下に設けた調節池・調整池により地域の防災力の向上にも寄与します。

また、白子川と一体的な親水空間を創出することで、水に親しみながら水辺の環境など環境教育が促進されます。



平面イメージ図（左岸）

①大規模な広場と遊戯広場

- 対岸の崖線、樹林地、白子川の自然豊かな景観を楽しむとともに、大規模な広場で来園者がのんびり思い思いの過ごし方を楽しめます。
- 大江戸線の延伸などにより地域が発展する中、広場を使い様々な賑わいを創出でき楽しめます。
- 大規模な地震や火災の際には、防災活動を支える場としても利用できます。
- 子どもが思う存分遊べる遊具や、高齢者の方も利用できる健康増進に寄与する複合的な器具などを配置し、様々な年代の方が楽しみ交流を深める場となります。

②ビジターセンター

- 公園の利用者がレストランやカフェなどでひと休みしたり、自由に往来できる交流の中心となります。
- 稻荷山公園周辺の動植物に関する情報が得られるとともに、自然環境を学習することができます。

③調節池・調整池など治水対策

- 広場の地下を有効活用し、河川や内水の氾濫への備えを行うことで、地域全体の治水機能が向上するとともに、治水対策を学習することができます。

④間接的な調節機能を備えた親水空間と生物の住処となる水辺空間

- 防災意識の醸成を図る場として、河川が見せる様々な「顔」を身近に感じられる空間となります。
- 水生生物に優しい環境を創出し、地域の人々が親しみをもてるかつての白子川のような、川辺の景観を楽しめます。

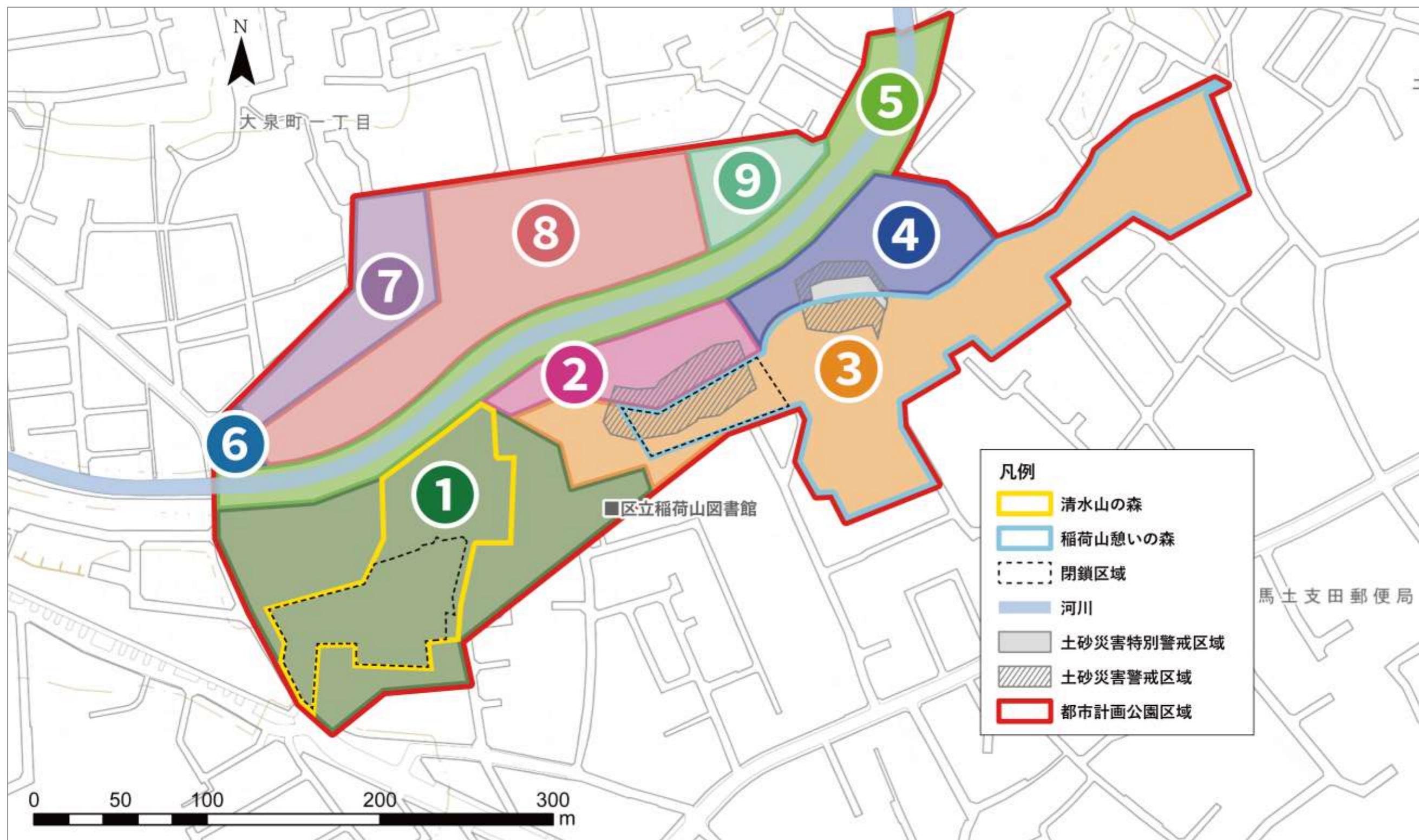
3 エリア区分

平面イメージ図（案）を踏まえたエリア区分

- ①清水山の森周辺エリア
- ②河川沿いの平坦地エリア
- ③稲荷山憩いの森周辺エリア

- ④湿地エリア
- ⑤白子川エリア
- ⑥エントランスエリア

- ⑦交流エリア
- ⑧景観を楽しむエリア
- ⑨親水エリア



※各エリアの数字は、これまでお示ししたエリアに数字を割り振ったものです。整備する順番を示したものではありません。

4 各エリアの将来像の実現に向けた検討

右岸：森を守り育てるゾーン

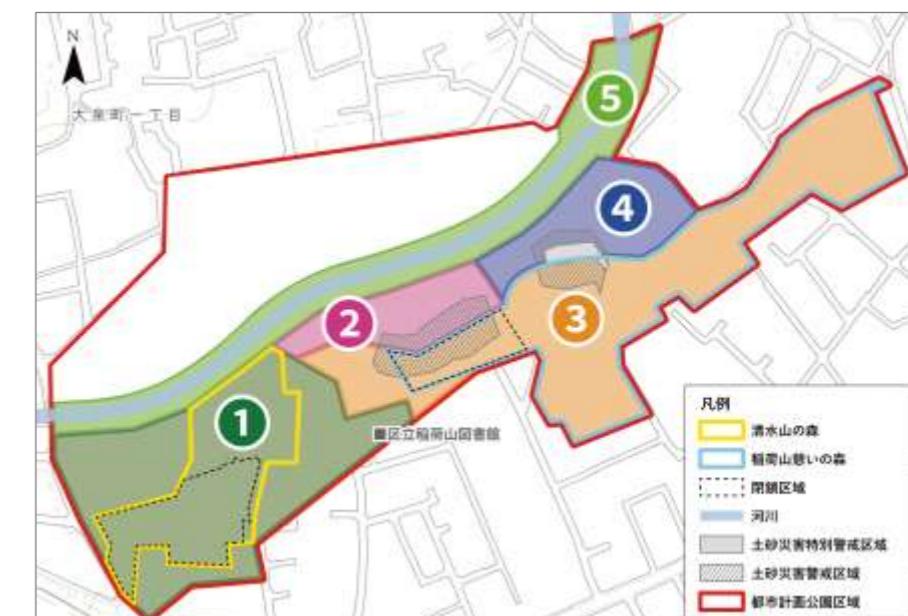
基本計画における右岸の整備の視点

多様な動植物の生育・生息空間となる樹林地の拡大と崖線などの地形を活かした、みどりが連なる森づくり

右岸エリア

- ①清水山の森周辺エリア ②河川沿いの平坦地エリア
- ③稻荷山憩いの森周辺エリア ④湿地エリア ⑤白子川エリア

将来像実現のための要素と検討ポイント（右岸側）



右岸のエリア分類

	利活用を踏まえた 将来像	将来像実現のための要素	主な検討ポイント（具体的アクション）	該当エリア				
				①	②	③	④	⑤
1	武蔵野の面影の再生	白子川の崖線の雑木林	・樹木の健全度評価の継続的な実施と既存樹林の保全	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
			・樹林形成のための植樹（地域性種苗の使用等）	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
			・衰退木の間引きによる雑木林の改善	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
			・多様な利用者に対応できる園路や安全・快適性に配慮した崖線周辺の施設配置の検討	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
			・傾斜地の安全対策	<input type="radio"/>		<input type="radio"/>		
			・雑木林の生態系や樹林管理をテーマとした環境学習プログラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
		ススキ等の草地	・草地の再生および管理計画（地域性種苗の使用等）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
			・草地や水辺での、利用者の景観や快適性に配慮した施設の検討	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			
			・草地の生態系や管理をテーマとした環境学習プログラム	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			

4 各エリアの将来像の実現に向けた検討

将来像実現のための要素と検討ポイント（右岸側）

	利活用を踏まえた 将来像	将来像実現のための要素	主な検討ポイント（具体的アクション）	該当エリア				
				①	②	③	④	⑤
1 武蔵野の面影の再生		かつての風景を有する河川	・東京都を含めた関係機関との調整・協議					○
		湧水を活かした湿地	・湧水のかん養域の調査	○			○	
			・持続的な保全活用のための管理方針	○			○	
			・湧水に触れられる親水施設の検討	○			○	
			・湧水の仕組みや湿地に関する体験学習プログラム	○			○	
2 区民との樹林地管理と 希少な動植物の保全		樹林地等管理 希少な動植物の 生息・生育環境	・稻荷山図書館や中里郷土の森と連携した保全・拡充	○		○		○
			・適正管理および粗放管理による樹林地の管理	○		○		
			・生物多様性に向けた維持管理計画（管理方針、管理体制等）	○		○		
			・萌芽更新の促進や苗木の育成などによる樹林地の再生	○		○		
			・多様な動植物の保全に関する学習プログラム	○	○	○	○	○
3 農業体験		水田や畠	・水田や畠の造成や景観を楽しみ安全に観察できる施設等の検討		○		○	
			・水田や畠の運営を担う指導者やボランティア人材の確保育成計画		○		○	
			・地域農家や農業団体と連携、協働した管理運営体制		○		○	
			・伝統的な練馬の農業に適した栽培品目や栽培方法、練馬の農業に関する体験学習プログラムやマルシェ等の地域イベント		○		○	

4 各エリアの将来像の実現に向けた検討

左岸：森の景観を楽しむゾーン

基本計画における左岸の整備の視点

崖線の森や草地が広がる昔ながらの自然豊かな景観を楽しむことができる場づくり

左岸エリア

- ⑤白子川エリア ⑥エントランスエリア ⑦交流エリア
⑧景観を楽しむエリア ⑨親水エリア



左岸のエリア分類

将来像実現のための要素と検討ポイント（左岸側）

	利活用を踏まえた 将来像	将来像実現のための要素	主な検討ポイント（具体的アクション）	該当エリア				
				⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1	大規模な広場と遊戯 広場	対岸の崖線の森や 川辺の景観を 楽しむ広場	・対岸の崖線や、雑木林、水辺の景観を楽しめるビューポイント、休憩施設を考慮した広場や園路の配置検討			<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
			・地震や火災による被害発生時の一時避難場所等として活用するための施設配置の検討	<input type="radio"/>				
			・多様な利用者が安全・快適に楽しめる複合的な遊具等の検討				<input type="radio"/>	
			・平常時のレクリエーション活動に加え、イベント開催時の利用等、多機能な空間利用を可能にするための広場の検討				<input type="radio"/>	

4 各エリアの将来像の実現に向けた検討

将来像実現のための要素と検討ポイント（左岸側）

	利活用を踏まえた 将来像	将来像実現のための要素	主な検討ポイント（具体的アクション）	該当エリア				
				⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
2	ビジャーセンター	多世代交流の場	・多世代間の交流や活動の連携、休憩できる便益施設の検討			○		
			・管理機能を含み、災害時における地域住民への迅速かつ効果的な情報配信・共有体制の確立			○		
			・多世代交流イベント等の企画運営を担う人材の確保や育成計画やイベントやワークショップ等の学習プログラム	○	○	○		
3	調節池・調整池など 治水対策	芝生広場の地下に配置し た調整池や調節池	・上部の利用を踏まえた構造等の検討			○	○	
			・調整池の構造や形状等の検討および関係機関との調整・協議		○			
			・調節地の構造や配置等に関する関係機関との調整・協議			○		
4	間接的な調節機能を 備えた親水空間と生 物の住処となる水辺 空間	生物多様性を基盤とした 親水空間	・親水空間等に導入する植物種の配置や植栽方法に関する検討	○				○
			・定期的な刈り取りやせん定等の維持管理方針	○				○
			・生物多様性の状況を把握するための継続的な調査	○				○
			・利用者が安全に水に触れられるような緩傾斜護岸の検討	○				○
			・水辺等への防護柵の設置など、利用者の安全を確保するための施設配置の検討	○				○
			・河川に関する体験学習プログラム	○				○